

# 聴覚障害教育特別支援学校教員の専門性

総合教育センター授業づくり支援課特別支援班

【A(あてはまる、講師ができる)、B(大体あてはまる、日々の学習活動に生かしている)、C(不十分である)】

内 容	自己評価
<b>1 特別支援教育に関すること</b>	
① 聴覚障害と教育の役割について理解している	
② 耳や脳の構造や機能、人工内耳について知識を持っている	
③ 聴覚障害の病理及びその心理について理解している	
④ 聴覚障害を伴う重複障害の指導内容・方法を理解している	
⑤ 言語指導、発音発語指導の知識・技術を持っている	
⑥ 学習指導要領に基づいた教育課程を理解している	
⑦ 聴覚障害に基づく自立活動の指導について理解している	
⑧ 発達障害について理解し、特性に応じた支援方法が分かる	
⑨ カウンセリングや教育相談に関わる知識・技術を持っている	
⑩ 職業教育、進路指導に関わる知識・技術を持っている	
<b>2 子ども理解、指導計画の作成</b>	
① 聴力検査に関する知識・技術を持ち、分析ができる	
② 補聴器の管理や言語検査ができる	
③ 聴能に関して基本的事項の知識と技能がある	
④ アセスメント結果を生かし、指導目標や手立ての立案ができる	
⑤ 個別の指導計画の意義がわかり、作成できる	
⑥ 個別の教育支援計画の意義がわかり、作成できる	
<b>3 授業力、実践的指導力</b>	
① 個別の指導計画に基づいた授業計画、授業展開、学習評価ができる	
② 障害に配慮した教科指導ができる	
③ 個々の実態を踏まえた目標が設定できる	
④ 個々の目標を達成するために適切な手だてを講じることができる	
⑤ 生活に生きる力を育て、児童生徒が主体となる学習活動の展開ができる	
⑥ 個々の実態に応じた適切な教材・教具や補助具等を活用できる	
⑦ 情報教育、コンピュータ等に関する知識・技術を持ち、活用できる	
⑧ TTによる役割分担を理解し、適切に連携・協力ができる	
<b>4 保護者、地域・関係機関との連携</b>	
① センターの機能を理解している	
② 保護者の心理が分かり、連携・協力ができる	
③ 医療・福祉・就労機関等について知識を持ち、必要に応じて連携がとれる	